

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2010-28830(P2010-28830A)

【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-242174(P2009-242174)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタル記録された本編コンテンツの指定、この本編コンテンツと共に1幕を構成する各種のコンテンツの指定、前記本編コンテンツと前記各種コンテンツの再生順序および再生開始条件、前記本編コンテンツと前記各種のコンテンツを再生出力する場合の上映機器および劇場設備機器の機器設定を1上映シーケンスデータとして登録可能な制御シーケンス設定装置と、

前記制御シーケンス設定装置に登録された1上映シーケンスデータに基づいて制御対象機器に対する制御指示を制御インターフェースを介して出力するプログラム実行装置と、

ネットワーク通信装置と、前記上映機器から送信された機器状態情報を記録する状態管理装置と、前記機器状態情報の内容または受信状況に基づいて機器異常を監視する緊急対応装置とを備え、

前記制御シーケンス設定装置により前記機器異常に対応する緊急シーケンスデータを登録可能とし、

前記ネットワーク通信装置を介して前記制御シーケンス設定装置に対し前記上映シーケンスデータを登録可能とし、

前記緊急対応装置が、検出した機器異常に対応する緊急シーケンスデータを前記プログラム実行装置に実行させるようにし、

前記ネットワーク通信装置を介して前記機器状態情報、ログ管理装置に記録された前記プログラム実行装置の処理履歴情報、及び前記機器異常の発生を示す機器異常情報のうち、1以上の情報を予め登録された通知先に送信可能とし、

前記ネットワーク通信装置の受信した制御指示により前記緊急対応装置が、検出した機器異常に対応する緊急シーケンスデータを実行するようにしたシアターコントロール装置。

【請求項2】

前記上映機器に遅れ時間を持って連動させる予備上映機器の設定を前記1上映シーケンスデータに登録可能とし、前記制御インターフェースに予備上映機器を接続可能とし、前記上映機器と前記予備上映機器の切り替え装置を設けた請求項1に記載のシアターコントロール装置。

【請求項3】

前記1上映シーケンスデータに前記上映機器としてフィルム映写機の指定を登録可能とし、前記制御インターフェースにフィルム映写機を接続可能とした請求項1又は2に記載のシアターコントロール装置。

【請求項4】

請求項1に記載のシアターコントロール装置と、このシアターコントロール装置とネットワークを介して接続された通信装置とを含み、前記通信装置と前記シアターコントロール装置との間で、前記制御シーケンス設定装置に登録される上映シーケンスデータを送受信可能に設けたシアターコントロールシステム。

【請求項5】

前記機器状態情報および前記処理履歴情報のうち、1以上の情報の取得要求を前記通信装置により前記シアターコントロール装置に送信可能とし、

前記シアターコントロール装置を、前記ネットワークを介して受信した取得要求に応じた情報を前記通信装置に送信するように設けた請求項4に記載のシアターコントロールシステム。

【請求項6】

前記通信装置と接続されており、前記シアターコントロール装置と前記通信装置との間で送受信される上映シーケンスデータと、前記通信装置の受信した前記機器状態情報および前記処理履歴情報のうち、1以上の情報を蓄積するデータベース装置を備えた請求項5に記載のシアターコントロールシステム。